



学輪 IIDA

令和6年度

全体会

—公開セッション—

と き: 2025.1/25 [土]

13:30~18:40 (受付開始13:00~)

ところ: ムトスぶらざ2階(丘の上結いスクエア)

〒395-0086 長野県飯田市東和町2丁目35番地

13:30~ 開会

13:40~ 飯田学輪大学オープニング

●出展者PRタイム

14:00~ 飯田学輪大学

●ポスターセッション ※裏面出展ブース紹介をご覧ください

15:30~ 大学連携の取組紹介

16:40~ パネルディスカッション
テーマ「未来を拓く『突破力』を
生み出す秘訣を探る」

※裏面紹介をご覧ください



●学輪IIDA 共通カリキュラム
実行委員会の取組
榎平龍宏氏(大月短期大学)

全国から集まった大学生と地元の高校生が、飯田で
一緒に学んだフィールドスタディの取組を紹介します。



●信州大学 水・水素関連の取組
宮原大地氏
(信州大学アドミニストレーション本部)

信州大学が南信州でこれから展開するグリーン水素
の社会実装について紹介します。

どなたでも自由にご参加いただけます

当日直接会場へお越しください

主催/飯田市 共催/しんさん南信州地域研究所

お問い合わせ: 飯田市大学誘致連携推進室 ☎0265-22-4511(内線2252)

E-mail: idaigaku@city.iida.nagano.jp

学輪IIDAをご存じですか?

飯田に興味関心を寄せる大学等研究者のネットワーク組織、それが「学輪IIDA」です。現在140名以上の先生が所属し、様々な専門を持った先生たちが全国から集まって飯田を舞台に調査研究をしたり、大学生を連れてフィールドワークをしたり、地域のみなさんと一緒に講座や学習会なども行っています。「大学の先生に聞いてみたいことがある!」「地域のことを一緒にやってほしい!」など要望があれば飯田市大学誘致連携推進室までお問い合わせください。

飯田学輪大学出展ブース

【14:00～】

今年では来場者が自由にブースを巡って話を聞くポスターセッション方式で開催します。
地域内外の様々な知見に触れられる交流の時間。
ぜひ興味のあるブースを1つでも多く回って、みんなで学びの輪をつくりましょう。



01 安全・安心な地域づくり — 防災×健康 —

大塚 理加 (国立研究開発法人防災科学技術研究所)
宮國 康弘 (日本福祉大学)

「安全・安心な地域づくり」は、防災対策と健康維持を基盤に、地域の暮らしを守る取り組みです。災害発生時の備えや避難計画の共有を通して地域の防災力を高め、地域のつながりを強くする事で健康向上を目指しましょう!

06 デジタルアースで飯田市での課題解決の学びを体験しよう!

中部大学・都留文科大学

都留文科大学と中部大学は飯田市や飯田女子高等学校とともにGISなどを活用した地域課題を学ぶワークショップを作成しました。これらをご紹介します。

02 信州大学が開発した「水」に関する研究紹介

宮原 大地 (信州大学アドミニストレーション本部)

信州大学が開発した「水」に関する研究をご紹介します。特に、光触媒で作る新しいグリーン水素や、貴重な地域資源である水の循環利用技術の社会実装を通じた、南信州での新たな産業やサービス創出への展望を、参加者の皆様と議論したいと思います。

07 飯田・リニア駅前広場プラットフォームへ参加しませんか

飯田市リニア整備課

リニア駅前広場は、利用者の皆さんの「つかう目線」で計画を進め、将来にわたって使い続けられる整備方法と運営の仕組みづくりを目指しています。このたび、市民や事業者の皆さんが意見交換できる「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」を設立しましたので紹介します。

03 「中国残留」を記憶する — Web歴史資料館開設に向けて —

蘭 信三 (大和大学)
山崎 哲 (一橋大学大学院) 森川 麗華 (東京大学大学院)

大日本帝国崩壊後、旧満洲などに留まることとなった約1万人の満洲移民はやがて中国残留孤児・婦人等と呼ばれるようになりました。現在、「中国残留」という歴史に特化した資料館などはありません。本報告では、「中国残留」の歴史を継承するためのWeb歴史資料館を開設することについての構想、意義について論じます。

08 地域と協働し考える 南信州ならではのランドスケープ

信州大学ランドスケープ研究室

2023年、リニア時代の地域開発のあり方を模索するための研究室が飯田市にできました。住民の方々と考えてきた地域の理想像＝ランドスケープを実現するための、土地利用計画や空間のデザインの実践をご紹介します。

04 徳島県上勝町の自然体験学習の取組紹介

澤田 俊明 (徳島大学)
上勝自然体験学習研究会

徳島県上勝町で2001年より実施している参加型ヤッホー活動を紹介します。この活動は、里山でのヤマビコの調査・認定・記録・体験から構成され、ヤマビコ認定士試験(筆記試験)、ほら吹き検定(実技試験)を有します。また、連携して元気づくりに寄与する脳テスト活動も紹介します。

09 飯田の現場でダイバーシティを学ぶ：社会学部1年生の研修報告

東洋大学 国際社会学科飯田コース学生有志

東洋大学国際社会学科の新生は、夏に国内外の現場を訪れ、多様な人々の活動や思いを知り、新しい社会の実現に向けて現場に即した学びを始めます。飯田・下伊那で学んだ成果と社会学の楽しさをお伝えします。

05 都留文科大学田開ゼミ遠山郷活動報告

都留文科大学 田開ゼミ

山梨県の都留文科大学環境教育ゼミです。私たちは遠山郷での小中学生向けESD塾や、地域の方々の協力によるお茶の剪定体験等を行ってきました。12月には霜月祭に参加し、地域文化の継承や関係人口の創出を目的に活動を進める予定で、今後の飯田市の発展について一緒に考えたいです!

10 みんなで繋がる!飯田の社会教育ネットワーク

伊那谷の自然と文化 社会教育機関プロジェクト

飯田市では、社会教育機関等が連携し、ふるさと伊那谷の自然や文化を次世代に繋ぐための取り組みを行っています。参加者の皆さんとも繋がって、このネットワークをより活性化させていきたいと思っています。

飯田市美術博物館 トピック展

美術博物館で行った1年間のトピック展のパネルを展示します。

パネルディスカッション

【16:40～】

テーマ

「未来を拓く『突破力』を生ま出す秘訣を探る」

研究者たちのアカデミックな取組事例から新たな視点を学び、飯田の特徴を生かした地域社会の革新や、持続可能性について考えます。

総合司会：三浦 弥生 氏 (飯田短期大学)
登壇者：石神 隆 氏 (法政大学名誉教授)
大石 雅寿 氏 (国立天文台)
大倉 茂 氏 (東京農工大学)
宮原 大地 氏 (信州大学アドミニストレーション本部)

